

(おしらせ)

人工衛星で豪雨による被災状況を把握 - 災害緊急撮影（2020年7月 熊本県・鹿児島県豪雨災害） -

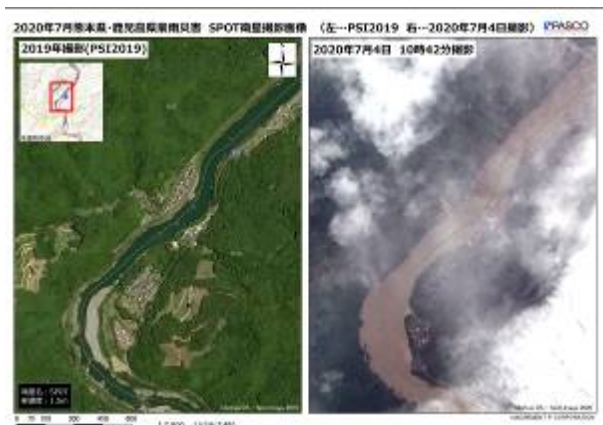
株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、代表取締役社長：島村 秀樹、以下パスコ）は、梅雨前線の影響による豪雨災害について、被災状況の的確な把握と今後の対策・対応を実施される関係各団体への情報提供の観点から、災害緊急撮影を実施しました。

撮影には、パスコが保有する空間情報の収集技術である人工衛星（地球観測衛星）を用いています。人工衛星による緊急撮影（観測）では、広範囲における被災状況が把握できます。

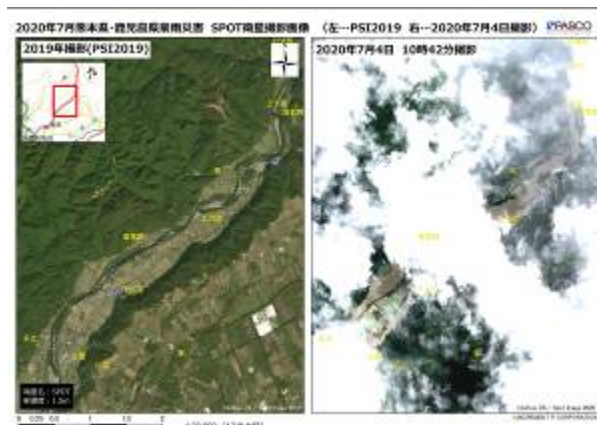
【光学衛星の観測成果の例】

光学衛星「SPOT 7」にて撮影（7月4日（土）：10時42分）

パスコでは撮影した衛星画像から洪水氾濫箇所の確認を行うとともに、災害以前4月10日撮影の画像と比較し、土砂移動の判読を行いました。



熊本県芦北町白石付近（球磨川）



熊本県五木村付近（川辺川）



土砂移動判読（熊本県芦北町）



洪水氾濫判読（熊本県八代市藤本地区）

パスコでは大規模な自然災害発生時において、迅速な現状把握と復旧・復興に資することを目的に災害緊急撮影を行い、当社の防災技術者や衛星画像解析技術者の知見を元に独自の解析を行っています。

今後もパスコは、空間情報事業を通じて安心して豊かな社会システムの構築に貢献すべく、活動を続けてまいります。

撮影・解析成果は順次、ホームページにて公開していく予定です。

(災害緊急撮影) <https://corp.pasco.co.jp/disaster/heavy-rain/20200704.html>

■本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

(報道機関) 広報部

<https://www.pasco.co.jp/>

TEL : 03-6412-2800

プレスリリースの内容は発表時のものです